

課題と事業の対応図 (第2期 令和2年度)

健康課題	対策の方向性
医療費は年々増加傾向で、特に本人の医科入院が増加しており、循環器系疾患の割合も増加している。 生活習慣病関連の受診率が年々増加。45歳以上で重症疾患の医療費も増加している。 生活習慣病の重症疾患の受診者も毎年一定数新規で発生し、増加している。	・生活習慣病の重症化予防策として、循環器系疾患の早期発見のための検査項目の拡充を実施。
特定健診実施率は全国平均より高いが、本人の受診率が横ばいで伸び悩みがみられる。家族も全国平均より高いが、半数は未受診。 特定保健指導実施率は全国平均と同程度。	・特定保健指導実施率の改善のため若年層への保健指導アプローチの実施
ジェネリック医薬品使用割合は金額、数量とも全国平均を上回っている。 調剤の使用数量の多い40～69歳でジェネリック医薬品使用割合が全国より低い。	使用率については問題はないが、今後も啓発等が必要。そのため、ジェネリック医薬品差額通知等を活用し転換可能なターゲット層への通知を実施。
前期高齢者の1人あたり医療費は健保平均の約1.4倍となっている。	前期高齢者の医療費削減に向けた事業の検討
血糖、血圧、脂質とも受診勧奨以上該当の方が全国と比べても多く、特に本人の50歳以上で血圧の高い方が多い。 受診勧奨以上該当者の医療機関受診状況をみると、受診なしの割合が血糖、血圧、脂質とも増加傾向で、血圧で約半数、脂質で半数以上が未受診のままになっている。	・要リスク保有者の受診勧奨を継続。
男性の生活習慣は運動習慣や睡眠状況は良好だが、食習慣と体重変化に課題あり。女性の生活習慣は食習慣、飲酒状況に課題あり。生活改善の意志のない方も多い。 男女とも喫煙率が全国より高く、特に女性の喫煙率がほとんどの年代で高い。男女とも40歳代の喫煙率が高い。	・従来のKenComの取り組みの継続に加え、食習慣の改善施策などの検討 ・受動喫煙へのリテラシーを含んだ禁煙に向けた活動などを検討。
該当なし	-
該当なし (これまでの経緯等で実施する事業)	-

保健事業の名称
健康推進委員会
担当者向け冊子配布
健保だよりの発行「サンテ」
ホームページ並びにイントラ（ノーツ）更新費用
データヘルス分析
健診結果の共同利用（すこやかサポート21）
【共同事業】女性の健康応援BOOK
医療費通知
『社会保険の知識』
特定健康診査事業（F2）
特定保健指導事業
人間ドック施設利用料
婦人科健診
成人病健診（H2）
成人病健診（H1）
節目健診（H3）
配偶者健診（F1）
大腸がん検診(郵送)
電話相談・チャット相談
KenCoM
みんなで歩活
糖尿病重症化予防プログラム
受診勧奨
40歳未満保健指導
服業者への保健指導実施
ジェネリック差額通知
心疾患再発予防プログラム（PREVENT）
ロコモ・フレイル予防事業（バックテック）
オンライン禁煙プログラム（リンケージ）

STEP2の健康課題
STEP2で登録した健康課題と対策の方向性が表示されます。
優先すべき健康課題は緑色で表示され、どの保健事業にも紐付いていない健康課題にはオレンジ色の枠が付きます。

STEP3の保健事業
STEP3で登録した保健事業名が表示されます。
事業カテゴリによって色が異なります。
職場環境の整備 ⇒ 赤
加入者への意識づけ ⇒ 緑
個別の事業 ⇒ 青
健康課題との紐付けを行っていない保健事業にはオレンジ色の枠が付きます。